

山西省の概要

北京の西南、黄河の中流に位置する内陸省。良質の石炭など鉱物資源に恵まれているほか、世界文化遺産に登録されている中国三大石窟の一つである雲崗石窟（うんこうせつくつ）や中国四大仏教名山の一つ、五台山など豊富な歴史・文化遺産でも有名。

1 位置

山西省は黄河中流の黄土高原に位置する内陸省で、西は晋陝（しんせん）峡谷を流れる黄河を境に陝西省（せんせいしょう）と接し、南は一部に東へ流れる黄河を挟んで河南省に接します。

また、北は万里の長城を挟んで内モンゴル自治区、東は一部に太行（たいこう）山脈を挟んで河北省と接しています。

2 面積

面積 156,700k m²（埼玉県 3767.92 k m²の約 41 倍）

東西の幅約 385 km、南北の長さ約 682 km

3 人口

37,183,400 人（2018 年、埼玉県 [7,337,835 人・2020 年 12 月推計] の約 5 倍）

4 省都：太原（たいげん）市

山西省の中央に位置。省の政治、経済、文化の中心地。

人口：約 438 万人（2017 年）

面積：6,988k m²



本県との主な交流事業

- 医療分野の研修員受入れ(昭和59年度～)
- 環境分野の研修員受入れ(平成4年度～)
- 埼玉国際ジュニアサッカー大会への参加(平成13、16、18、22年度)
- 山西大学への奨学生派遣(平成18年度～)
(平成30年度までに計40名を派遣)
- 知事の山西省訪問(平成18、21年度)
- 山西医科大学からの奨学生受入れ(平成22年度～)
- 山西省副省長・書記等要人の来県
- 山西省の高校生等100名が本県を訪問(平成27年度)